

令和6年度 狭山市立入間野中学校 学校経営全体計画

〇 はじめに

国→教育基本法 第1条—人格の完成、(教育の目的) 第2条—教育の目標
教育振興基本計画「すべての子どもに、自立して社会で生きていく基礎を育てる」(目指すべき教育の姿)
県→「第4期 埼玉県教育振興基本計画」(令和6年度～10年度)
市→「夢をかなえ 人をつくる 狭山の教育」 *危機管理に強い学校づくり
『生きる力を備え 未来へはばたく “さやまっ子” の育成』

★基本的な方向性★

- ① 「気遣い文化」醸成の継承・発展
- ② ESDの視点に立った授業改善の研究 → 日々の授業実践・定着へ
(1月の学校指導訪問に向けて)
- ③ 教職員の「働き方改革」への試み (「お題目」にとどめず、確実な前進を!)
例)「計画年休」(年に2～3回)の相互理解 (まずはトライしてみましょう!)
月1回水曜日等の「ふれあいデー(ノー残業デー)」の試行

1 学校観

学校とは、集団の中で子供の生きる力を育み、夢を実現し得る力を身につけるため、組織的かつ、意図的・計画的に教育活動を行うところである。

2 中学校とは

- (1) 学力、体力を身につけるところ
- (2) 基本的生活習慣を身につけ、礼儀や生き方について学ぶところ
- (3) 多様な活動を通じて人間関係づくり(仲間づくり)を学ぶところ
- (4) 将来を見据えながら自己の進路について考え、進路選択・進路決定をするところ

3 入間野中の「特色」「強み」

- (1) 行事を、学年・学級の枠を超えてみんなで盛り上げることができる
- (2) 無言清掃に取り組んでいる
- (3) SDGsを意識して行動できる

＋ 日々の授業を大切にしている

4 校訓

高く(知) 明るく(徳) たくましく(体)

5 学校教育目標 「志高く、心豊かに、自らを鍛える生徒」

6 学校教育目標が目指す具体的な生徒像

(1) 志高く

- ① 今の自分、将来の自分の在り方、生き方を考えられる・・・自己肯定感を高める
- ② 授業や他人の考えをよく聴き、自分の考えをはっきり言える・・・「聴く力」「発信力」
- ③ 物事を広く深く見ることができる・・・寛容さ、探求心

(2) 心豊かに

- ① 相手の目を見て、聞いたり話したりする *相手の話を一方的に否定しない
- ② 「はい」「すみません」「おかげさま」「ありがとう」をはっきりと言える
- ③ 自他の尊厳を認め、命を大切にする（いじめや差別を許さない、謙虚な心と態度）

(3) 自らを鍛える（挑戦する）

- ① 毎日の「あたりまえ」をあたりまえに
＝ **凡事徹底・・・「時を守り 場を清め 礼を尽くす」**
- ② 日々の授業に集中して取り組む・・・意欲、主体性
- ③ 自分で決めたことを粘り強く最後まで全うする・・・達成感、成就感

7 目指す生徒像 「気づく感性を備え、他者への気遣いと貢献のできる生徒」

8 経営方針 「生徒の知性、感性、品性を磨く学校づくり」

生徒一人一人の強みを引き出し伸ばします。（生徒を勇気づける教育活動を）

- (1) 大きな夢と誇りを育み、持続可能な社会の創り手を育てる教育を推進します。
- (2) 謙虚な心と自他の命を大切にする教育を推進します。
- (3) 生徒、教職員、保護者、地域が愛し、誇りに思う学校を創ります。

<具体的指針>

- ① 本校の強みを継承しながらも、生徒のために新たな教育活動を創造する
- ② 信頼と協働のもと、組織的に課題に臨み、全教職員で一人一人を教育する体制を確立する
- ③ 生徒の心を揺さぶる教育環境（人、もの、仕掛け）づくりをすすめる
- ④ 小中一貫教育を踏まえ、保護者、地域の教育力を活用する

9 特色ある教育活動

○ ESD の視点に立った教育活動の展開と授業改善

- ICT の活用や「学び合い」を積極的に取り入れた、生徒が主役となる授業づくり
- 生徒会活動（いじめゼロ宣言、各種のキャンペーン活動、SDGs の取組）の継承
- 教育相談の充実（チャンス相談、二者相談）
- 生徒が主体的に取り組む学校行事（体育祭、音楽会、旅行的行事、STG フェス等）
- 無言清掃の取組の継承とさらなる徹底
- 時代の変化と要請に応じた学校生活様式（学校生活のきまりの見直し・改善）
⇒学校の「不易と流行」を踏まえながらも、ときに思い切った改革・改善を

本年度特に力を入れたい点

- ★学習：「正解」のない課題や未知の課題に対して、他者と協働しながら主体的に解決していこうとする意欲や思考力、判断力、表現力を高める。
- ★生活：常に相手や周囲のことを気遣い、進んで他者や集団のために貢献しようとする意欲や態度を養う。

(1) 確かな学力につながる学習活動の充実と基礎的・基本的事項の徹底

- ◎1 単位時間内で学習内容を理解し定着できる授業、わかることに自信のつく授業
- ◎「理解して深める」授業の創造(展開の工夫)、まとめと「ふりかえり」の重視
- ◎ 基礎・基本の定着のこまめな見届けをする

策 学力向上のための実践、指導法・教材の共有化(教材リソース)
ICT(タブレットPC)の積極活用、必要に応じたオンライン授業の活用
教科内での授業研究(相互の授業参観)、教科内の共通した学習活動
小単元テスト等の積極実施、長期休業中の適切な課題提示

◎家庭学習の習慣化(自学、自習できる力の定着に向けて)

○毎日30分以上は、自宅で机に向かい学習することを継続させる。

策 15分程度の宿題の提示、定期テスト前の学習計画の作成と指導
長期休業中のしおりの作成、タブレット端末を活用した課題提示

(2) 豊かな心の醸成

- ◎感動、葛藤のある教育活動の創造一種々の体験的学習の推進
- ◎自他の尊厳を認め、謙虚な心と命を大切にする教育の推進
- ◎自助、共助、公助の心と態度を育む教育の実践

策 全校、学年一斉道徳授業の実施、道徳の指導法、資料の共有化
学校ファームでの体験充実、体験学習の工夫、生徒会による
いじめゼロの取組、防災に関する一斉の授業、「いのちの授業」

(3) 基礎体力の向上と心身の健康の増進

- ◎体育の授業の充実
- ◎目的意識を持った部活動の充実—顧問が必ず部活動に出る
- ◎食育の推進、防衛体力の増進

策 基礎体力トレーニングの導入、大会前の激励会の企画、養護教諭等
との協同授業、授業、保健室だよりによる病気、けが・感染症予防策の学習
部活動における「熱中症警戒アラート」発出時の対応、熱中症計の管理・活用

(4) ESD(持続可能な社会の創り手を育む教育)

- ◎2年間の研究と実践を生かした取組の継続とさらなる授業改善

策 ESD、「主体的・対話的で深い学び」を意識した単元の指導計画と1時間の
授業デザインの工夫…生徒の主体的活動と他者との協働を盛り込んだ授業

(5) 積極的な生徒指導の推進(生徒指導の組織的対応の推進)

◎規律ある態度の育成

○心を落ち着けて行動する、黙働の推進と徹底

策 無言清掃の徹底 集会会場への黙働入退場(担任の立ち位置)
廊下の徒歩移動の徹底

○時間を守る - 学校生活で時間を守る→

①朝読書の開始 ②授業の始終業
③清掃の始まり ④下校

策 教職員の3分前行動の実践(朝の職集の効率化、連続授業時の移動の工夫)、生徒会の啓発運動、専門委員会の呼びかけ、繰り返しの指導

○身だしなみ、言語環境を整える

策 教員による登下校指導(定期テスト時)、毎朝の担任による指導
朝会時の指導、専門委員会による服装点検の実施
職員室来室時の指導の徹底、TPOを踏まえた言葉遣い(対生徒、対同僚)

◎無言清掃にしっかり取り組み、他人が嫌がる仕事に喜んで取り組む態度を養う

策 清掃週間、掃除の方法の講習会、BGMが途絶えたら「無言」の徹底

◎いじめ防止、不登校防止対策の推進

策 いじめ調査の定期実施、いじめゼロキャンペーンの実施(生徒会活動)
いじめ防止個票の作成と活用(教育相談部)、相談室やSCとの連携

◆いじめや暴力行為、不登校等への組織的対応

【担任が一人で抱え込まないように】

- ・生徒指導主任を中心とした「いじめ対策委員会」・「不登校対策委員会」の立ち上げ、運営
- ・迅速な ①情報共有 と適切な ②役割分担
- ・対応の ③記録化
- ・保護者との連携
(保護者を呼ぶ場合は、「一緒に子供のために考えましょう!」というスタンス)

(6) 社会総がかり(保護者、地域)の共育の実践

- ①学校運営協議会の運営 = コミュニティ・スクール(地域運営学校)の認識
- ②丁寧な窓口や電話での応対
- ③「お客様」(来校者)への温かみと誠意のある接遇
- ④保護者や地域の方に寄り添った(相手の立場に立った)応対
(3S・・・ Speed Smile Strong)

【 口頭にて 】

- ・「袖振り合うも 他生の縁」
- ・「人は誰でも無数の縁の中に生きている。無数の縁に育まれ、人はその人生を開花させていく。大事なのは、与えられた縁をどう生かすかである。」

★職員相互のご縁、子供たち・保護者とのご縁・・・、大切にしたいものです。

-
- ・「ただしゃべる教師は、一番ダメな教師
 - 理解させようと努める教師は、少しましな教師
 - 自らやってみせる教師は、優秀な教師
 - 最高の教師は、（）」

（ウィリアム・アーサー・ワード）

他に…

「お世辞を言われたら、あなたのことは信じない。

批判されれば、嫌いになる。

無視されれば、許さない。

勇気づけてくれれば、（）。」

★生徒たちの心に火を灯し、生徒たちを勇気づける、そんな教育活動を
展開しましょう！

一年間、よろしくお願いします。